

スマイル Pick Up!

広報紙で紹介してほしい、またはアピールしたいことがある個人・団体を募集します。
〒未来創造課広報広聴係 (☎88 - 1114 ✉kouhou@city.katsuyama.lg.jp)

子どもは宝 大事にしたい



杉平 信夫さん (85) =本町3区=
「子どもたちと歩くのは楽しいし、いい運動になる」と、長年続く日課が杉平さんの健康にもつながっているようです。



登校を見守る杉平さん

杉平さんは、お孫さんが小学校に入学したのをきっかけに、以来16年間、見守り隊として子どもたちと毎朝一緒に登校しています。
保護者の方からは「元禄線は車のおりも多く、工事も続いているので、毎朝見守っていたい」
冬期間には、通学路の除雪が必要な際、中後区から元町交番前までを除雪機で往復。また、通学路の危険箇所を市に知らせ対応を協議するなど、児童が安全に通学できるように尽力されています。
成器西小学校の先生も「今年の大雪の時も児童に付き添ってくれた」と、杉平さんの活動に助けられたと話しています。
こうした活動が認められ、昨年11月に(公社)「小さな親切」運動本部から「小さな親切」実行章が贈られました。
「子どもは宝。大事にしないと」と話す杉平さんの優しいまなざしが、今日も児童を見守っています。

喜んでもらえること 少しでもやっていきたい



久永 与志勇さん (81) =長山町2区=
「頼まれもしないことをなんでやるんやと言われるけれど、できることは今後もお手伝いしていきたい」
ボランティア精神にあふれる久永さんの活動は、これからも続きそうです。
動が評価され、ボランティア功労者として厚生労働大臣表彰を受けました。
久永さんは「皆さんのおかげで立派な賞をいただきました。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられていました。



2月2日 水上市長に受賞報告

久永さんは、長山町ボランティアの会に参加し、36年の長きにわたって、障がい者や高齢者の屋根と家屋の修繕、家の周りの剪定、雪囲いや屋根雪下ろしなどに協力してきました。
そのほかにも、九頭竜ワークシヨップの花壇づくりや病院の敷地清掃など、地域外でもボランティア活動にいそしんでいます。
過去には、ナホトカ号の重油流出事故のボランティアにも参加したそうです。
「大変そうながいれば助けずにはられない。水路のごみなども、見かければ掃除してしまおう」と笑顔で話す久永さん。
11月13日には、これまでの活

仲良し4人組 打楽器の演奏で県代表に



(写真左から) 山田 帆夏さん、白野 彩和さん、大滝 日向子さん、松井 ゆきさん (全員6年生)

「県大会では絶対金賞」と話していた4人ですが「最後に少し失敗して、結果発表まではどきどきしました」
「楽器演奏は楽しい。いやと思っただことはないです」と話す4人は、先生の細やかな指導を受けながら、真剣に練習に励んでいました。
それではここで、4人の北陸大会に向けての意気込みをどうぞ！
山田さん「リズムがずれないようにしたいです」
白野さん「悔いのないようにがんばります」
大滝さん「緊張して焦らないように演奏したいです」
松井さん「県大会での失敗は繰り返しません」

成器西小学校に通う4人は、1月23日に開かれた第54回県吹奏楽アンサンブルコンテスト小学校の部で金賞・県代表に選ばれました。
4人は2月7日に北陸アンサンブルコンテストに出場します。
全員が4年生から同校のアンサンブルクラブで活動し、今年はこの4人でチームを組み、11月から大会に向けて本格的に練習してきました。

広報発行時には結果は出ていますが、素敵な演奏になることを期待しています。

外国人住民に情報発信 地域交流深めたい



大偉 大偉さん (31) =片瀬町2区=

会に相談。会社の技能実習生に声をかけ、1月17日に成器南小学校の正門付近の歩道で雪かきボランティアを行いました。
後日、同校児童から感謝の手紙が贈られると、ボランティアに参加した大偉さんは「大した事はしていないのに子どもたちに感謝されてうれしい。また次もやりたい」との声があつたそうです。
「コロナ禍のため、実際に活動したのはこのボランティアが初めて。次につなげてほしい」と話す大偉さんの、次にやりたいことは中国文化を紹介することです。

中国出身の于さんは、市内の繊維会社にお勤めです。昨年9月に県が募集した「ふくい外国人コミュニティリーダー」に興味を持ち応募。行政と外国人住民をつなぐ架け橋となつていきます。
会社で中国出身の技能実習生の面倒を見ている于さんは「わからないことが多いので、県の事業で情報をもらい中国人が使うSNSで発信することで、みんなの生活がよくなるのでは」と思い応募したそうです。
1月の大雪では「こんなに雪が積もっているのを見るのは人生で初めて」と非常に驚いた于さんは、大雪で困っている人たちを助けたいと、県国際交流協

「子どもたちの手紙には、中国の料理を食べたい」や「中国のことを知りたい」と書いてあり、興味を持っていることに驚きました。機会があれば地域交流を行いたいのです。ぜひ声をかけてください」と素敵な笑顔で話されていました。